

2026年7月3日

宮崎交通株式会社

一般路線バス（乗合バス）の上限運賃改定の申請について

宮崎交通株式会社（代表取締役社長 高橋光治 宮崎市）は、2026年7月3日、九州運輸局に一般路線バス（乗合バス）運賃の上限運賃変更認可申請を行いました。

申請理由および申請概要等は次のとおりです。日頃よりご利用のお客様におかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

1. 申請理由

当社は、地域の皆様の移動を支える公共交通機関として、これまでも効率的な事業運営に努めてまいりました。しかしながら、人口減少に伴うご利用者の減少に加え、燃料費の高騰や物価上昇、人件費の増加など、経営環境は厳しさを増しております。

このような状況下においても、公共交通機関として最優先すべき「安全・安心の確保」に向けた設備投資や、計画的な車両更新は不可欠です。また、将来にわたり安定的にバス路線を維持していくためには、事業基盤の強化が極めて重要な課題となっておりますが、現在の運賃水準ではその原資確保が困難な状況でございます。

つきましては、今後も安全な輸送サービスを提供し、地域に根差したバス事業を継続していくため、大変苦渋の決断ではございますが、今般、運賃改定の申請を行うことといたしました。

2. 申請概要

- | | |
|----------------|-----------------|
| (1) 申請日 | 2026年7月3日（金） |
| (2) 運賃改定実施予定日 | 2026年10月1日（木） |
| (3) 申請対象路線 | 当社が運行する一般乗合バス路線 |
| (4) 現行・申請運賃比較表 | |

初乗り運賃	現行上限運賃	申請上限運賃※1	実施運賃（予定）※2
	210円	220円	200円（変更なし）
賃率	現行賃率	申請賃率※3	
	56円00銭	68円10銭	

※1 申請上限運賃は、事業の経営に必要な原価に応じて算出される、バス事業者が収受してもよいとされる運賃の上限額です。

※2 今回、初乗運賃の実施運賃は200円で変更はございません。

実施運賃は上限運賃の範囲内で、実際にお客様から収受できる運賃額です。

※3 上限運賃の平均改定率は21.27%となります。尚、実施運賃に関しては上限運賃より低額な実施運賃といたします（実際の平均改定率は10%程度を予定）

(5) 主要区間の運賃

区間	片道運賃		定期券(通勤1ヶ月)	
	現行運賃	実施運賃(予定)	現行	実施運賃(予定)※
宮崎駅～山形屋前	200円	200円	7,800円	8,400円
宮崎駅大和口～イオンモール宮崎	250円	270円	9,750円	11,340円
宮崎駅～宮崎空港	490円	530円	19,110円	22,260円
宮崎駅～運動公園前	620円	680円	24,180円	28,560円
宮交シティ～橋通3丁目	220円	240円	8,580円	10,080円
宮交シティ～宮崎駅	270円	290円	10,530円	12,180円
宮交シティ～学園短大・国際大	340円	370円	13,260円	15,540円

※定期券（通勤・通学）も2026年10月1日発売分より割引率を引き下げます。

お客様のご負担が増えることとなりますが、何卒ご了承のほどお願い申し上げます。

3. 収支状況及び乗車人員

		収支状況	乗車人員
実績年度（実績）		△681百万円	7,527千人
平年度(推計)※3	改定前	△982百万円	6,718千人
	改定後	△474百万円	6,516千人

※3 平年度推計の収支状況は、事業の経営に必要な原価を計上した推計値です。
平年度推計(改定後)の輸送人員および収支状況は、申請上限運賃での推計値です。

4. 安全対策への取り組み

経費の徹底的な削減を進めながらも「安全」に対する対策は最優先に実施しております。

- ・横断歩道左折横断時の「一時停止」の徹底
- ・ドライブレコーダー導入による、運転士への安全指導
- ・従業員による運転士の接遇・運転に対する定期的なモニタリングの実施
- ・ドライバー異常時対応システム（EDSS）搭載車両の拡大
- ・バス脱出訓練等、非常事態対策訓練の実施

今後も、日常的な運転士指導・教育を積極的かつ継続的に行うことで安全体質を徹底するとともに、車両への安全投資も引き続き実施してまいります。

5. 経営改善の取り組み

路線見直し・ダイヤ改正をはじめとした経営改善を実施してまいりました。

- ・路線見直し、ダイヤ改正
- ・業務効率化による営業所の人件費削減
- ・遠隔点呼導入による運行管理業務効率化
- ・安全に関する以外の投資抑制 など

今後も、利用者の多い通学・通勤時間帯の所要時間調整や、遠隔点呼の拡大による更なる業務効率化など、経営改善に資する取り組みを進めてまいります。

6. サービス向上に向けた取り組み

ICT技術を活用したさまざまなサービスを提供してきたほか、割引率の高い商品や行政と連携して魅力ある商品の提供に努めてまいりました。

【商品】

- ・学生向け定期券「CAMPASS-mini」
- ・土日祝乗り放題「ホリデーパス」
- ・宮崎県内1日乗り放題乗車券
- ・平日昼間宮崎県内乗り放題「平日ひるぱす」
- ・高齢者向けパス「宮交スマート65」
- ・外国人旅行者専用乗車券「VISIT MIYAZAKI BUS PASS」
- ・スマートフォンアプリを利用するデジタル乗車券

【サービス】

- AIデマンド「宮交のる〜と」の導入
- クレジットタッチ決済の導入
- バスロケーションシステムの導入
- 主要バス停へのデジタルサイネージの設置
- MaaSアプリ「my route」を活用した交通・観光連携商品の造成
- 低床式車両（ノンステップバス）の導入
- 液晶運賃モニターの導入
- 車内デジタルサイネージの導入

MaaS等のICT技術を活用したサービス向上や、運転士の接遇向上によるお客様の満足度向上に取り組み、サービス向上施策を検討してまいります。

今後も安心・安全なバス輸送サービスを提供するため、人財戦略、バス車両の定期的な更新、環境問題など将来を見据えた対応を行うことにより、持続可能かつお客様にとって利便性の高いバス路線およびサービスを構築してまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ】

宮崎交通株式会社 お客様バス案内センター
0570-039-385 （平日）8:00～18:00、（土日祝）9:00～18:00